

原単位の改善のための取組に関する状況【2024年度提出分(2023年度実績)】※非特定事業者用

株式会社 北熱
(HOKUNETSU Co., Ltd.)

銘柄コード
法人番号 4230001002852

日本標準産業分類	コード	項目名
中分類	24	金属製品製造業
細分類 (申請事業)	2469	その他の金属表面処理業
エネルギー管理統括者	【役職】 常務 【氏名】 石黒秋雄	

エネルギー総使用量	33,426	GJ	862	kℓ
前年度エネルギー総使用量				kℓ
非化石エネルギー総使用量		GJ		kℓ
調整後温室効果ガス排出量				t-CO ₂

【エネルギーの使用の合理化】

主たる事業におけるエネルギー消費原単位 (2023年度実績)	原単位分母				
	主たる事業の構成割合 %				
事業者全体のエネルギー消費原単位 対前年度比	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
事業者全体の5年度間平均原単位変化(%)					

※主たる事業は、必ずしもエネルギー消費量の多寡で決定されるものではなく、日本標準産業分類の考え方に基づき各事業者が決定したものの。

【電気の需要の最適化】

主たる事業における電気需要最適化評価原単位 (2023年度実績)	原単位分母				
	DR実施日数				
事業者全体の電気需要最適化評価原単位 対前年度比	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
事業者全体の5年度間平均原単位変化					

【ベンチマーク指標の状況(合理化)】

ベンチマーク区分		
目指すべき水準		
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分		
目指すべき水準		
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準		
ベンチマーク指標の状況		
ベンチマーク区分	-	-
目指すべき水準		
ベンチマーク指標の状況		

【調整後温室効果ガス排出量の算定に用いた認証排出削減量等の量】

種別	合計量		
			t-CO ₂
-	-	-	t-CO ₂
-	-	-	t-CO ₂
-	-	-	t-CO ₂

【非化石エネルギーへの転換】

電気の非化石比率	事業者全体で使用する電気				
目標(2030年度)	20.0%				
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目安設定業種					0.0
目安(2030年度)					
目標(2030年度)					
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
目安設定業種	-			-	
目安(2030年度)					
目標(2030年度)					
直近5年度間の実績値	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
					-

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定量指標)】

--

【取組の概要:業界の事情等を考慮した取組について(定性的事項)】

<p>1. エネルギーの使用の合理化に関する事項</p> <p>金属表面処理業は金型寿命を向上させるため、金型にコーティング処理や窒化処理をおこなう業種です。コーティングでは切削工具や金型の最表面に薄くて硬い金属セラミックス膜を生成し、製品自体の寿命を大幅に向上させます。また、窒化処理では金属表面から窒素原子を内部に拡散浸透させ表面硬化により耐久性・耐摩耗性を向上させます。金型の表面処理工程時に大量の熱と電気を必要とするエネルギー多消費産業です。作業効率の改善や省エネ設備へ更新することでCO2排出量の削減に向けた取り組みを進めています。CO2排出量を削減するために省エネ型のコンプレッサーや省エネ型の空調設備の更新、照明のLED化を実施しました。</p> <p>2. 非化石エネルギーへの転換に関する事項</p> <p>製造工程で使用する電気の契約プランを再エネ電気料金メニューへ変更すること検討し、環境対策としてCO2排出量の削減に取り組めます。</p>

【取組の概要:カーボンニュートラルに向けて】

<p>1. 自由記述欄(カーボンニュートラルの実現等に資する事業者独自の取組や革新的技術に係る研究開発等の取組について)</p> <p>2. 関連リンク</p>
--

(注意事項)

- 赤枠囲み欄は必須記載です。
- 再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法第37条第1項の規定による、賦課金に係る特例の適用を受ける期間においては、情報の公表を継続する必要があります。